

# シンナガサキミーティング開催レポート

## i n 滑石小学校区



令和6年3月23日（土）、自治会や育友会、民生児童委員、ボランティア団体、地元学生など16人の皆さんにお集まりいただき、滑石小学校区の「シンナガサキミーティング」を開催しました。

自己紹介では、高齢者サロンや防災活動、夏休みの花火大会、ボランティア活動などそれぞれの立場で地域のために行っている活動や、地域で暮らしていく中で感じていることなどをお話いただきました。



## いただいたご意見

### ①市民防災リーダーの情報について

市民防災リーダーになった際に、校区内に市民防災リーダーが何人いるかなどを市役所に尋ねたが、個人情報関係で教えてもらえなかった。地域内で協力していくためには、情報共有も必要ではないか。

市の考え方  
回答

長崎市民防災リーダーは、自治会長等から推薦いただいた方に養成講習を受講していただき認定しており、認定後は自治会長等と防災リーダーが連携して、地域の推進役となり防災活動に取り組んでいただいています。

地域の防災活動の活性化には、防災リーダーの皆さんに積極的に活動していただくことが重要であることから、自治会長等から避難訓練など地域の防災活動を実施するにあたり、地域の防災リーダーの認定状況や連絡先等の問い合わせを受けることがあります。

そのため、防災リーダーに認定する際に、自治会長等への情報提供の確認を行い、承諾をいただいた防災リーダーの情報については、自治会長等からご要望があった場合は提供できるよう対応しているところです。

## ②高齢者サロン養成講座について

高齢者サロンのイベントで非常に盛り上がり交流ができた。今後も、サロンの養成講座をどんどん開催してほしい。

市の考え方  
回答

地域住民による身近な場所で気軽に集う場「高齢者ふれあいサロン」の企画・運営等の担い手となる高齢者ふれあいサロンサポーター養成講座は毎年開催しています。令和5年度は中央地区と南地区の2か所で開催し60名のサポーターを養成しました。令和6年度は市内3カ所での開催を予定しています。

「高齢者ふれあいサロンを開設したい」、「サポーターを増やしたい」、「プログラムの助言を受けたい」等のご要望がありましたら、担当の地域包括支援センターまたは総合事務所地域福祉課へご相談ください。

## ③子どもの安全について

子どもの安全のために、学校の近くに防犯カメラが設置できないか。

市の考え方  
回答

現在、滑石小学校の児童玄関に防犯カメラを1台設置しています。学校敷地内において、新規で必要があれば学校等と協議を行い設置について検討を行うこととなります。

そのほか、「高齢者の生活支援の相談窓口を教えてほしい」、「自治会や民生委員などの地域の担い手の負担軽減や次の世代に継承してためのしくみづくりを考えてほしい」、「市役所の手続きの簡素化や窓口での分かりやすい説明に努めてほしい」などのご意見をいただきました。

いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後の市政運営に活かしていきます。



## 鈴木市長のひと言

滑石地域を良くしたいという思いがすごく強いことがよく分かりました。お互い顔の見える関係をつくっておくことが、地域コミュニティとしてすごく大切だと思いますので、自分のできる範囲で、地域のいろんな活動に参加し、お互い顔見知りになっていただければと思います。



## 参加者からの感想

市長との意見交換ができ、直接の回答をいただいて、とてもよかったと思います。

地域の皆さんと市長とで様々な意見を交換し合い、勉強になりました。

色々な立場の方のお話を聞くことができ、この地域を、よりよいものにしていければいいなと思った。

自分の知らない、他の地区やほかの方の話が聞けてよかった。市長が色々な話に積極的に対応、反応してくださって、よかったです。

